

第2学年 国語科学習指導案

日時 平成28年9月14日(水)
児童 2年2組 男11名 女9名 計20名
授業者 昆野 貴弘

1 単元名 たからものについて、話すことをえらんで、じゅんじょよくしょうかいしよう
教材名 「たからものをしょうかいしよう」(東京書籍2年上)

2 身に付けさせたい力と言語活動の構想

〈既習〉

- ・話の組み立てに沿ってみんなの前で話す。
- ・説明する順序に気を付けながら話す。
- ・改まった場に適した言葉づかいで話す。

〈児童の実態〉

- ・相手に応じて「です」や「ます」を使って、丁寧な言葉で話すことができる。
- ・順序に気を付けながら話すことができるが、相手によく伝わるように話す事柄を選んで話すことは苦手である。
- ・みんなの前で話すことに苦手意識をもつ児童が多い。

〈身に付けさせたい力〉

- ◎相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。

(話すこと・聞くこと イ)

- 相手に伝わるように、声の大きさや話す速さに注意してはっきりと話すこと。

(話すこと・聞くこと ウ)

〈言語活動〉

- ・大切にしている宝物について事柄や順序を考えて友だちに紹介すること。

(言語活動例 エ)

〈単元のゴールの姿〉

- 宝物について、「始め」「中」「終わり」の組み立てで、話す事柄を考えて順序よく話すことができる。

始め・・・わたしの宝物は、くまのぬいぐるみです。

宝物は何かを話す。

中・・・くまのぬいぐるみは、薄茶色をしていて、1才の赤ちゃんくらいの大きさです。
気に入っているところは、ふわふわしているところです。
タオルのような布で作られているので、とてもさわり心地がいいです。
ベッドのところに置いていて、いつもいっしょに寝ています。
ぼくが生まれた時におばあちゃんがお祝いに買ってくれた物です。

特徴、お気に入り、思い出等を話す。

終わり・・・大好きなおばあちゃんからもらった記念のぬいぐるみなので、これからも大切にしたいと思っています。

これからどうしたいかを話す。

3 単元の目標

- ・宝物を紹介し合うことに興味をもち、身に付けたい力を意識して、意欲的に取り組もうとしている。
(関心・意欲・態度)
- ◎「始め」「中」「終わり」の組み立てで、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉で話すことができる。
(話すこと・聞くこと イ)
- ・相手に伝わるように、声の大きさや話す速さに注意してはっきりと話すことができる。
(話すこと・聞くこと ウ)
- ・言葉には、事物の内容や経験したことを表したり伝えたりする働きがあることに気付いている。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア))

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・宝物を紹介し合うことに興味をもち、身に付けたい力を意識して、意欲的に取り組もうとしている。 <p style="text-align: right;">観察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「始め」「中」「終わり」の組み立てで、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉で話している。 <p style="text-align: center;">イ 観察・発表・ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように、声の大きさや話す速さに注意してはっきりと話している。 <p style="text-align: center;">ウ 観察・発表・ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、事物の内容や経験したことを表したり伝えたりする働きがあることに気付いている。 <p style="text-align: center;">イ(ア) 観察・発言</p>

5 単元の指導計画（7時間）

次	時	主な学習活動	見通しと言語活動の手立て	評価規準
第一 次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教師のモデルを聞いて、学習の見通しをもつ。 ・学習計画を立て、単元全体の流れをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の宝物紹介を聞くことで、ゴール（宝物発表会）のをイメージさせるとともに、自分が身に付けたい力を考えさせる。 <p style="text-align: center;">【見通し】</p>	<p style="text-align: center;">関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝物を紹介し合うことに興味をもち、身に付けたい力を意識して、意欲的に取り組もうとしている。 <p style="text-align: center;">(観察・発言・ワークシート)</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み、宝物を紹介するために話す観点を確かめる。 ・紹介したい宝物を決め、その理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文から紹介する観点を確かめさせる。 ・自分が友だちに一番紹介したい宝物を決め、その理由が宝物を選ぶ観点到合っているか交流させる。 <p style="text-align: center;">【言語活動】</p>	
第二 次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「始め」「中」「終わり」の組み立てで話すときよく伝わることを理解する。 ・宝物紹介で話すことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書をもとに、「始め」「中」「終わり」でどんなことを話したらよいかを確かめさせる。 ・考えたスピーチ原稿を交流させ、相手に伝わるように、話すポイント(①どんなものか ②気に入っているところ ③思い出)が入っているかを話し合わせる。 <p style="text-align: center;">【言語活動】</p>	<p style="text-align: center;">話・聞 イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「始め」「中」「終わり」の組み立てで、話す事柄を考えている。 <p style="text-align: center;">(観察・発言・ワークシート)</p>
	4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方のモデルを聞き、話し方のポイントを確認する。 ・スピーチ原稿を見ながら個人やグループで話す練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方のモデルを示し、話し方のポイントを考えさせる。 ・話し方のポイントに気を付けて話すことが出来ているか個人やグループで確かめながら練習させる。 <p style="text-align: center;">【言語活動】</p>	<p style="text-align: center;">話・聞 ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように、声の大きさや話す速さに注意してはっきりと話している。 <p style="text-align: center;">(観察・発言・ワークシート)</p>

	5	・聞き手を意識しながら、学級で宝物紹介の練習をする。	・前時に学習した発表のポイントを想起させ、大切な宝物についてなるべく原稿から目を離し、聞き手を意識して紹介することを理解させる。【見通し】 ・「宝物発表会」に生かすように、聞き手を意識した話し方で練習し、良い点・直したい点を交流させる。【言語活動】	話・聞 ウ 「始め」「中」「終わり」の組み立てで、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉で話している。 ・相手に伝わるように、声の大きさや話す速さに注意してはっきりと話している。 (観察・発言・ワークシート)
第三次	6 ・ 7	・練習してきたことを生かし、隣のクラスの友だちを相手に「宝物発表会」を行う。 ・身に付いた力について振り返る。	・これまでの学習を生かし、発表のポイントに気を付けて、「宝物発表会」を行うこと【見通し】 ・今まで身に付けた力を使って、友だちによく伝わるように宝物を紹介させる。【言語活動】	言 イ(ア) ・言葉には、事物の内容や経験したことを表したり伝えたりする働きがあることに気付いている。 (観察・発言・ワークシート)

6 本時の学習（4時間／7時間）

(1) 目標

聞く人に伝わるように、声の大きさや速さ、発音（口形）に注意して話すことができる。

(2) 展開

段階	活動内容	○手立て ・留意点 ◇評価規準	備考
導入	1 既習と本時の学習内容を確かめる。	・学習計画を用いて単元の過程を振り返り、身に付けたい力（聞く人に伝わる話し方）を押さえながら目的意識を高めさせる。	・学習計画表
	2 本時の課題を確かめる。	聞く人につたわるように話すには、どうするとよいか。	・ワークシート
7分	3 課題解決の見通しをもち、学習の流れを確かめる。	○話し方のモデルを示し、話し方のポイント（①発音・口形 ②速さ ③声の大きさ）を考えさせ、課題解決の見通しをもたせる。評価の基準を確認し、目標をもって練習できるようにする。【見通し】 ①はっきり・・・口をはっきりあける。 ②ゆっくり・・・聞きやすいはやさ（おそすぎ×） ③大きな声・・・3の声	・児童モデル 中学校区視点1
	（学しゅうのながれ） ①1人でれんしゅう ②グループれんしゅうのしかた ③グループれんしゅう1 ④グループれんしゅう2 ⑤学しゅうをふりかえる	・モデルを示してくれた児童を褒め、称賛する。 ・本時は、個人練習をしてからグループ練習を2回するという学習の流れを確かめさせる。	
展開	4 1人で練習する。	・グループ練習に向けて、話し方のポイントを意識させながら個人練習に取り組みさせる。	
	5 グループ練習の仕方を知る。	・1つのグループをモデルにして、評価方法や助言の仕方を確かめさせ、練習への意欲をもたせる。 ・モデルを示してくれた児童を褒め、称賛する。	・児童モデル

28分	6 グループ練習1をする。	○話し方のポイントに気を付けて話すことが出来ているか個人やグループで確かめながら練習させる。 【言語活動】 ・評価を「◎：よくできた・○：できた・△：もうすこし」で記録させる。 ・1回目の練習を振り返らせ、聞く人に伝わる話し方について話し合う。(◎児童の紹介)	・ワークシート
	7 グループ練習2をする。	・1回目よりもよい評価がもらえるように励まして2回目の練習に取り組ませる。 ・評価を記録させる。児童の意欲を高めるために「花丸：とてもよくできた」を加える。 ◇声の大きさや速さ、発音に注意しながら話す練習をしている。 話・聞 ウ (観察・発言・ワークシート)	
終末	8 本時のまとめをする。	聞く人によくつたえるためには、はっきり、ゆっくり、大きな声で話す とよい。	・ワークシート ・振り返りシート 中学校区視点2 ・学習計画表
10分	9 学習の振り返りをする。	・本時の学習で分かったことや次の学習に生かしたことを記入させる。 もっとはっきり話す といいよと言われて、2回目のときはそこをがんばりました。みんなの前で話すときも、聞く人によく伝わるようにがんばりたいです。	
	10 次時の確認をする。	・みんなの前で話す練習をすることを伝える。	

*遠野中学校区授業改善の視点に関わって

視点1 〈課題意識の持続のために〉

- ・個人練習をしてからグループ練習を2回するという流れを確かめさせる。

視点2 〈達成状況の把握のために〉

- ・はっきり、ゆっくり、大きな声で話すことができたかどうか振り返らせる。

(3) 板書計画

<p style="text-align: center;">まとめ</p> <p>聞く人によくつたえるためには、はっきり、ゆっくり、大きな声で話すとよい。</p>	<p style="text-align: center;">△のとき</p> <p>「もっと〜するとよくつたわると 思います。」</p> <table border="1" style="margin: auto; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">大きな声 3の声</td> <td style="padding: 5px;">ゆっくり 聞きやすい</td> <td style="padding: 5px;">はっきり 口の形</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">△</td> <td style="padding: 5px;">◎</td> <td style="padding: 5px;">○</td> </tr> </table>	大きな声 3の声	ゆっくり 聞きやすい	はっきり 口の形	△	◎	○	<p style="text-align: center;">かだい</p> <p>たからものをしようかいしよう</p> <p>聞く人につたわるように話すには、 どうするとよいか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈学しゅうのながれ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 一人でれんしゅう ② グループれんしゅうのしかた ③ グループれんしゅう1 ④ グループれんしゅう2 ⑤ 学しゅうをふりかえる </div>	<p style="text-align: center;">かだい</p> <p>たからものをしようかいしよう</p> <p>聞く人につたわるように話すには、 どうするとよいか。</p>
大きな声 3の声	ゆっくり 聞きやすい	はっきり 口の形							
△	◎	○							